2016年度中間期の連結決算概要

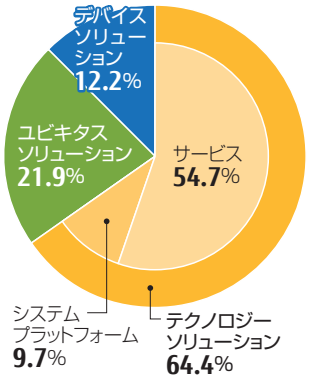
詳細は、当社ホームページ(http://pr.fujitsu.com/jp/ir/finance/)に掲載の「2016年度 第2四半期 連結決算概要」をご参照ください。

2016年度中間期連結業績

決算ハイライト(単位：億円)

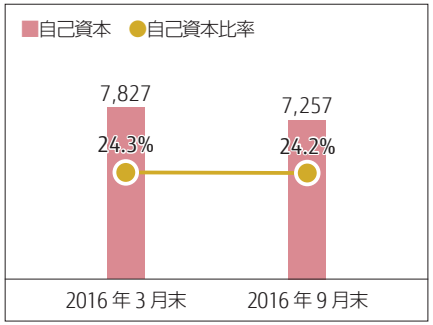
	2015年度中間期	2016年度中間期
売上収益	22,412	20,850
営業利益	△ 124	258
当期利益	△ 159	118

売上比率



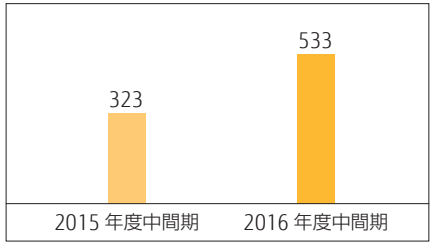
＊ 売上収益はセグメント間の内部売上収益を含みます。

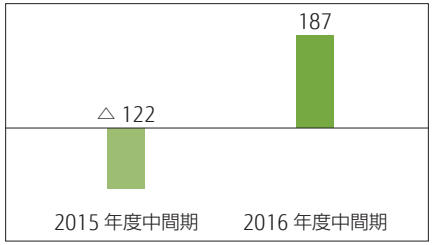
自己資本比率 (単位：億円)

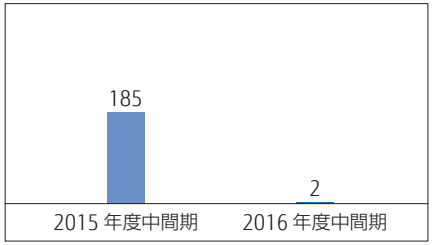


＊ 自己資本比率は、自己資本÷資産合計により算出しております。なお、自己資本は、資本金、資本剰余金、自己株式、利益剰余金およびその他の資本の構成要素で構成されています。

セグメント別営業利益(単位：億円)







テクノロジーソリューション

●テクノロジーソリューションは増益となりました。サービスは、海外が減収影響に加え、為替影響もあり減益となった一方、国内は増収効果に加え、前年同期に計上した一時費用の負担減もあり増益となりました。システムプラットフォームは、PCサーバを中心に採算改善が進みました。ネットワークプロダクトでは、国内の増収効果に加え、前年同期に計上したビジネスモデル変革費用の負担減の影響や、施策実施に伴う固定費低減効果により改善しました。

ユビキタスソリューション

●ユビキタスソリューションは、前年同期比で改善しました。パソコンは、国内向けの増収効果に加え、米国ドルに対する円高の進行による国内拠点での部材コストダウンや、費用効率化により改善となりました。携帯電話も、減収影響はあるものの、コストダウンや費用効率化により改善しました。モバイルウェアは増収効果により増益となりました。

デバイスソリューション

●デバイスソリューションは減益となりました。LSIは、スマートフォン向けを中心とした減収影響に加え、工場施設の法定点検実施に伴う費用負担や稼働低下の影響を受けました。また、LSI、電子部品ともに米国ドルに対する円高進行による減収影響を受けました。

その他／消去又は全社

●その他では、464億円の損失となりました。次世代クラウドを中心に戦略投資などを実施しています。

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	5,000,000,000株
発行済株式の総数	2,070,018,213株
資本金	324,625,075,685円
株主数	157,268名(前年度末比4,011名減)

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
富士電機株式会社	228,391	11.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	93,628	4.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	77,763	3.76
富士通株式会社従業員持株会	58,221	2.81
株式会社みずほ銀行	36,963	1.79
朝日生命保険相互会社	35,180	1.70
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	32,993	1.59
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	32,111	1.55
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	29,594	1.43
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	26,862	1.30

(注)富士電機株式会社および株式会社みずほ銀行の持株数には、退職給付信託としてみずほ信託銀行株式会社に信託され、資産管理サービス信託銀行株式会社に再信託された信託財産を含んでおります。